

家具産地、＜静岡＞の職人が作る
＜福健＞福井木工所の手作りキハダ材家具



北海道産＜黄肌（キハダ）材＞ミカン科広葉樹です。



板の反りを直し、板の湿気を取る作業が焼き盤

＜福健＞の家具は人工乾燥した板は、一切使いません。
材料は全て丸太で仕入れ、製材した板は一枚一枚干します。
縦に干す事により、雨水が板のアクをぬきます。



板は全て手鉋で仕上げます。



抽斗を鉋で削りながら本体に仕込みます
引き出し内は会津産の最高級桐材です。



当木工所製品には創業者、福井健一＜福健＞の
焼印を入れてあります。



木地に直接漆を塗りこむ地下漆塗り

<福健>黄肌家具

北海道産のキハダ材、無垢板で作った温かみのある家具です。

材料

北海道産黄肌材、(ミカン科広葉樹。北海道ではシコロと呼びます。)です。ナラやタモ、ケヤキ、センなどに比べ木の反りやくるいが少なく木の硬さもタモとセンの間くらいあり家具作りに適した材料です。皮の内側が黄色くその部分は胃薬の漢方薬にも使用されます。木材は丸太で仕入れ、製材後年月(15mm.厚の板で1年~一年半以上)を掛け天然乾燥して使用しています。

家具本体、裏板、前面鏡板すべて北海道産黄肌材無垢板にて製作してあります。また、抽斗の中は会津産の最高級桐材(抽斗底板は柾目桐)を使用しております。この家具に使用している木材は、北海道産黄肌材と会津桐の無垢の木のみです。

仕事

ホズ組や剣先止め、戸板、抽斗前板の淵巻きなど職人技を駆使し、板の仕上げも手鉋による削り仕上げを施してあります。また天板門丸の内側は、付け木をしてから手作業で丸めます。戸、抽斗は一つ一つが家具本体の無垢材の微妙な板の反りや季節による板の動きを、職人の経験と腕を活かし仕込み仕事により手鉋で削りながら仕込みます。鉋削り仕上げは、(削る材料や、場所によって何種類もの鉋を使用します。本体前面の板の丸めも鉋で削って仕上げます。)板を木の目に逆らわず削りますから、非常に滑らかできれいな木の肌に仕上げることが出来ます。無垢の板を最高の状態に仕上げる為には切れる鉋は欠かせません。熟練の職人のみが成せる技です。

塗装

無垢の板の温かみを最大限に活かすために、漆を塗って仕上げています。技法は天然の生漆を直接木に塗りこむ地下塗り拭き漆を、七回以上塗り重ねて仕上げます。

注1 値段が安くても漆塗りと表記される製品の中には下地にウレタン塗装を施し漆の回数を減らしている製品もかなりあります。しかし、漆とウレタンは馴染みが悪く短い期間で漆がはがれてしまいます。下地から混ぜ物なしで漆を塗りませんと、将来、塗り直しも利かなくなります。漆塗りは本来塗り直しができます。

注2 拭き漆とは、漆を板にヘラでのばし拭き取ってしまう塗り方です。塗って拭き取る作業を何回繰り返したかが塗りの回数です。塗りの回数が多いほど色艶は増します。通常の拭き漆仕上げは五回程度が一般的ですが回数を重ねるほど色艶が増し肉もちも良くなります。また、漆は湿気を与えることにより乾燥します。漆が一番乾く理想の湿度と温度は、湿度70%気温26度といわれております。梅雨の季節でしたら、一日2回塗ることも可能ですが、通常は一日一回しか塗れません。また逆に冬場の乾燥する季節は乾かず2日に一回しか塗れない場合もあります。塗った漆がしっかり乾く前に塗り重ねてしまうと、拭き取る時に先に塗った漆まで取れてしまいます。漆は乾いてから、1ヵ月位で完全に硬化します。塗った当初は色が濃く多少の塗りムラも出ますが

月日が立つと共に薄く透けて塗りムラも消え元の木の色が活かされてきます。色が落ち着くのに半年以上掛かります。黄肌材の場合元の木の黄色が冴えてきます。また、下地に絵の具で着色すれば、民芸色など、色具合を濃くすることは出来ます。

漆は、塗膜が非常に硬くウレタン塗装の4倍以上の硬度になります。そのため完全硬化した後は擦り傷など着き難くなります。また、熱に強く熱い湯のみなどを直接置いても後がつきませんし、防菌、除菌効果もあります。

天然素材につき、シンナーや、マニキュアの除光液、などの化学薬品にはあまり強くありません。また紫外線にもあまり強くありません。家具の設置は直射日光の当たる場所はなるべく避けてください。お手入れは、乾いたタオル等で拭いてください。汚れがひどい時は濡れタオルを硬く絞って拭いてください。化学雑巾は絶対に使わないでください。

金具

金具には真鍮無垢を使用いたしました。一般的なアルミダイキャストの金具に比べ強度、重みがあり、高級な質感を持つ真鍮を曲げ加工して古美色（真鍮の無垢の棒を曲げて加工しています。ざらざらした荒らし加工は、薬品に真鍮をしたし表面を溶かし荒らし加工しております。着色はメッキ処理です。）また古美メッキはアルミにできません。

特注品について

一本一本手作り、受注後製造です。お客様のオーダーにも対応いたします。細やかなご注文に出来る限り対応いたします。特注は当社では出来る限りの対応いたします。黄肌材でしたら、長さ2.5~3メートル、45ミリ厚までで、幅45センチ程度の材料は常にごぞいます。他の材料も檜、桑、榆、タモ、杉、檜など対応いたしますのでご相談ください。（箱物は黄肌をお勧めします。）

また、お客様からの簡単なスケッチでも、寸法さえ指定していただければ製作は可能です。ただし構造上無理のある箇所は、新たな提案をいたします。

塗装は、黄肌家具「匠」は漆塗り前提に開発した商品ですが、お客様の予算や、好みにおいてはウレタン塗装、オイル塗装も承ります。

製品には<福健>（当木工所創設者、福井健市の福と健で<福健>です。）の焼印を、私達の責任と、心を込め刻印しております。

なお、この製品は手作りの為、納期に一ヶ月~一ヶ月半ぐらい掛かりますことをご了承下さい。

<福健>の和茶棚

家具本体 黄肌材無垢

和茶棚は、16.1 mm厚と 18.8 mm厚を使用

特注でお客様の希望の板厚で製造することもできます。

参考板厚、10 ミリ、12 ミリ、15 ミリ、18 ミリ、21 ミリ、30 ミリ、35 ミリ、45 ミリ

(檜無垢、桑無垢、檜無垢、柃無垢、タモ無垢等も用意できます。)

戸板、前板

檜天然杢ツキ板、桑天然杢ツキ板、島桑天然杢ツキ板 受注にて檜杢目無垢、檜板目無垢も承ります。

裏板

柃、黄肌ツキ板、受注にて黄肌材無垢 (約 9 mm)

引き出し 会津桐 (底板柃目)

仕事

家具本体に使用する黄肌材は北海道産を使用しております。丸太で仕入れ静岡で製材後、1年～3年(板厚によりちがいます。)天然乾燥してから使用しております。

引き出しに使用する桐材は会津桐を会津の製材所から仕入れ当社にてあく抜き乾燥してから剥いで使用しております。

輸入材を一切使用しない純国産の家具です。また国産材は殺虫剤などの汚染もなく安全な材でもあります。

板、桐、前面の檜、桑ツキ板すべて手鉋にて削り仕上げして仕上げております。

家具本体はホズ組、引きごみ、落とし込み等昔ながらの伝統的な工法にて手組にて組み立て、引き出し、戸はすべて本体に合わせた手仕込みにて最良の使い心地を提供いたします。

金具

真鍮鋳物金具を使用しております。アルミ製の金具にくらべ強度、質感共に勝ります。

真鍮製品のためデザインに限りがありますが、お客さまの要望におこたえします。

また、真鍮以外の金具も取り寄せできます。

塗装

檜はウレタン塗装7分消し、桑は時代塗り。

受注にて漆塗りも承ります。漆塗りは拭き漆6回～7回塗りです。当社の漆塗りは木地の下地には化学塗料は一切使用しておりません。また、目止めも一切しない地下塗り拭き漆です。

色具合は民芸色にすることもできます。また塗り漆も承ります。

<福健>の家具は一本、一本手作りによる製造の為、お客様の細かなオーダーにも対応いたします。納期が1ヵ月～2ヵ月くらいかかります。

＜福健＞の手作り家具

家具本体	北海道産黄肌材無垢
戸板、前板	北海道産黄肌材無垢 檜無垢材
和茶棚	桑空突板 檜空突板
裏板	北海道産黄肌材無垢
引き出し	会津桐（底板柾目）
塗装	漆塗り（一部の和茶棚はウレタン塗装）
金具	真鍮（古美メッキ）

一本、一本手作りによる製造の為、納期が1ヵ月～2ヵ月くらいかかります。
寸法、デザイン、塗装等、お客様のご希望の家具を製作いたします。何なりと申しつけてください。

〒422-8053
静岡市駿河区西中原一丁目8-24
TEL. 054-285-0493
FAX. 054-285-9874
URL. <http://fukuken-kagu.com/>
E-mail info@fukuken-kagu.com

福井木工所